社会的養育におけるアタッチメントの理解と実践

～ Watch Me Play!の実際と可能性 ～

＊当財団（講座）は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を受けております。<承認期間：2022 年 7 月 2 日～2027 年 7 月 1 日 承認番号：20210392>

期　　日：2026 年 2 月21 日（土）
受講対象：社会的養育、社会的養護、里親養育に関わる全ての専門職・行政職・民間団体・ボランティア、本講座内容に関心のある学生、研究者の方
定　　員：80 名（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください。先着順となります。）
受 講 料：8,500 円（税込み）
主　　催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団　TEL 03-3986-7021
会　　場：明治安田こころの健康財団 講義室　※詳細地図は受講証に添付いたします
東京都豊島区高田3-19-10
JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

講師ご紹介

（ご企画）上鹿渡 和宏 先生：児童精神科医、博士（福祉社会学）
早稲田大学人間科学学術院教授、総合研究機構社会的養育研究所所長
こども家庭審議会社会的養育・家庭支援部会委員、虐待防止対策部会委員

御園生 直美 先生：臨床心理士、公認心理師、博士（心理学）
白百合女子大学人間総合学部講師
早稲田大学人間総合研究センター客員研究員

日本の社会的養育は今、大きくかわろうとしています。2025 年度からの5年間は、こどもの権利を基盤に、アタッチメントとパーマネンシーの考えを軸とする計画が策定され、全国で実践展開されています。国の「はじめの 100 ヶ月の育ちビジョン」でもアタッチメントの重要性が示されましたが、社会的養護においては常に言われてきたことです。しかし現場では、限られた体制や対応の難しさから、アタッチメント支援が十分に実現できていない実態もあります。

本講座では、社会的養育のこれまでとこれから、新たな制度やシステム、目指す方向について理解を深めます。また、多様な状況で育つ子どもと、その養育者のための英国発のプログラムとして Watch Me Play!を取り上げ、演習を通して体験的に理解を深め、明日から現場で活かせるヒントへとつなげる1日とします。　【企画講師：上鹿渡 和宏】

【プログラム】

時　間	テ ー マ	講師（敬称略）
10:30～12:00	社会的養育のこれまでとこれから ～国・自治体・民間の動向と今後必要な取り組み～	上鹿渡 和宏
12:00～13:00	昼　食（各自おとりください）	
13:00～14:10	「アタッチメント支援の理解：基本から応用へ」 ・社会的養育におけるアタッチメントの再整理　・子どもの発達と関係性支援の視点 ・現場で求められる応用的理解	御園生 直美
14:20～15:20	「Watch Me Play!：乳幼児期の関係性を支える支援プログラム」 ・Watch Me Play!の理解と方法　・自治体・施設等での国内実践例 ・導入時のポイントと課題	御園生 直美
15:30～16:30	「Watch Me Play!の実践演習と今後の可能性」 ・ロールプレイなどによる体験的理解　・実践を通した気づきの共有 ・国内外の展開状況と今後の可能性	御園生 直美
16:40～17:00	質疑応答・まとめ	上鹿渡 和宏 御園生 直美

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。